

令和6年度 茨城県 産地生産基盤パワーアップ事業の評価（令和5年度の実績評価）

地域協議会名	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状			目標			実績	価格補正後の実績	達成率 (%)	都道府県の評価
					現状		目標		実績					
					年度		年度		年度					
常陸大宮市農業再生協議会	常陸大宮市三美地区	施設葉物有機野菜（ハウレンソウ、コマツナ）	新規にパイプハウスを導入して施設栽培に転換し、有機野菜（ハウレンソウ、コマツナ）生産に取組み、販売額の10%以上の増加を図る。さらに、生産性向上のために作業効率を高める機械化を行う。	10a当たりの販売額の10%以上の増加	R2	2,117,842円/10a 延べ面積549a (内訳) ハウレンソウ：372a 1,460,662円/10a コマツナ：177a 657,180円/10a	R5	2,638,000円/10a 延べ面積549a (内訳) ハウレンソウ：372a 1,954,000円/10a コマツナ：177a 684,000円/10a	R5	3,136,467円/10a 延べ面積773a (内訳) ハウレンソウ：269a 1,040,704円/10a コマツナ：504a 2,095,764円/10a	—	195.8	前年度と比べ、両品目とも生産が安定してきている。ハウレンソウについては、目標数値の生産数量に届いていないため、今後も土づくりに力を入れ、栽培に取り組んでほしい。	
		にんじん等有機野菜	販売額の10%以上の増加を図るため、飼料用作物等から露地野菜（有機野菜：にんじん、ベビーリーフ、ハウレンソウ等）へ転換し、さらに安定的に生産及び供給するための作業効率を高める機械等を導入する。		H30	66,695円/10a (内訳) デントコーン 45,660円/10a そば 21,035円/10a	R5	1,060,000円/10a (内訳) にんじん 240,000円/10a ベビーリーフ 400,000円/10a ハウレンソウ 420,000円/10a	R5	2,117,895円/10a (内訳) にんじん 231,875円/10a ベビーリーフ 1,054,820円/10a ハウレンソウ 831,200円/10a	—	206.5	各品目とも生産が安定し、成果目標を達成することができた。引き続き土づくりに力を入れ、良質な農産物の生産に取り組んでほしい。	
稲敷市地域農業再生協議会	稲敷市桑山地区	施設野菜（ミニトマト）	低コスト耐候性ハウス（3,528㎡×4棟、4,032㎡×3棟）、集出荷貯蔵施設の整備	単位面積当たり販売額の85%増加	R2	2,444千円/10a	R5	良品出荷 22,728千円/10a 加工用 605千円/10a	R5	良品出荷 3,530千円/10a 加工用 1,344千円/10a	—	11.6	収穫量が少なく、成果目標である販売金額が目標に達していないため、収量向上に向けた改善措置計画を作成させることで指導していく。	
			低コスト耐候性ハウス（4,032㎡×6棟）、集出荷貯蔵施設の整備	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること	R1	0%	R5	80%	R5	100%	—	125.0	成果目標は達成したが、収量が目標に達していないため、収量増加に向けた改善の取り組みが行えるよう継続して支援していく。	
常陸大宮市農業再生協議会	大宮地区	かんしょ	作業効率を高め、生産安定を高めるための収穫機の導入	販売額の10%以上の増加	R2	14,997,887円	R5	21,707,000円	R5	27,353,052円	27,243,640円	182.5	かんしょの生産、販売とも順調に伸びている。今後も引き続き、生産・販売量を確保するため、機械の効率的な運用をお願いしたい。	

常陸大宮市農業再生協議会	常陸大宮市 野田・上伊勢 畑地区	ソバ	農業機械のリース 導入による有機栽培の拡大	10aあたりの販売額 の10%以上の増加	R2	(参考値) 27,839円/10a	R5	30,672円/10a	R5	32,719円/10a	—	172.2	前年度と比べ、10a当たりの単収の増加が顕著であり、目標を達成した。規模拡大の意欲があることから、市と連携して農地情報等の提供を行っていききたい。
鉾田市農業再生協議会	鉾田市 旭地区	かんしょ	規模拡大や付加価値向上に必要な施設の整備・機械の導入により販売額の増加を図るとともに、輸出向けの出荷を行う。	輸出向けの年間出荷量10t以上	R1	0t	R5	15t	R5	39t	—	260.0	高品質生産と適切な貯蔵、輸出業者との連携により目標を大きく上回る成果を挙げられた。引き続き、生産量・出荷量が増加するよう取り組んでいただきたい。
稲敷市地域農業再生協議会	稲敷市佐原組 新田地区、釜 井地区、甘田 地区、幸田地区他	水稻	農業機械のリース 導入による輸出向け出荷量の増加	輸出向け年間出荷量10t以上	R2	0t	R5	20t	R5	20t	—	100.0	機械の活用により、成果目標を達成することができた。今後は、導入機械による乾田直播の技術体系を農業改良普及センター等の指導を受けながら確立し、生産コストと労働時間の削減を図ってほしい。